

理事長挨拶

本日はお忙しい中貴重な場を与えていただき感謝しています。

私たち社会福祉事業団が、今後の重要取り組みについては、3点

- ・これまで培った専門性をフルに発揮した乳幼児から成人まで切れ目のない障害施策の展開
 - ・人財育成
 - ・事業の安定した経営
- と考えています

それぞれの事業の現状と課題についてですが、児童発達支援センターにおいては、市内の各関係機関との信頼関係を構築しながら、専門職員を配置する中で、質の高い療育を行うとともに、保護者への育児支援にも取り組んでおります。また、市民ニーズに応えるため、各種通所教室や幼稚園等と併せて利用ができる「並行通園」といった多様な通園形態、発達に不安のある就学前の子どもと保護者向けに「土曜日クラブ」などの事業も実施しており、その結果、利用者アンケートでの満足度は高く、第三者評価や市の外郭団体経営評価において「堺モデル」といっても良いぐらいの取り組みをしている高い評価も頂いております。ただ、これらに満足することなく、今後とも市民ニーズに対応した事業展開を図っていきたいと思います。

また利用者、職員が念願でありました第2もず園の整備が今年度から始まり、老朽化し、浸水区域にあるえのきはいむとの統合が31年度に叶います。ありがたく思っています。

並行通園に関しては、障害児の巡回相談をしている関係大学からもその意義は大きく、その間の療育が小学校、中学校にあがった際には大きな効果が出ていると評価頂いております。

今後さらに事業内容に工夫を重ね、一人でも多くの障害児に療育ができることと共に利用料収入の増にも努めてまいります。

また、これまで培った障害児に係る専門知識をもって市内各園への支援も積極的に取り組んでおります。

次に健康福祉プラザにつきましては、開所5年目を迎え、市内関係機関との連携を深め、講師派遣や講師紹介など、複合施設としてのメリットを生かした取り組みを行うとともに、障害者、健常者共通の新たなイベント等の企画開催、地域との交流事業などにより、周知と利用者増に取り組み、開所年の7万人から年々あらゆる面で工夫することにより増え、当初28年度末目標の10万人を前倒しして、27年度末には107,660人、今年度末には11万人を超える勢いとなっており、この数字はプラザの認知度も高まっていることを表しているものと考えています。次期指定期間中には13万人を目標にし、さらなる利用者増に務めます。

一方、市内外からの視察もあり、その6割は他市でここでの運営を参考にしたいと来られます。

アウトリーチ事業としても積極的に関係機関のみならず、学校や地域、企業に出かけ、障害のある職員含め直接話しかけ、交流することで障害理解に努めています。

そして、高次脳機能障害については市立総合医療センターと連携し、対象者への支援と共に市民啓発にも努めています。その結果訓練を終了した 140 人のうち 25%の方の復職を果たしています。

また、先月 20 日から 23 日まで開催しておりました障害者の方の生きがいと才能の発表の場でもある障害者作品展アートセッションも年々応募者も増え、個性豊かな過去最高の 249 点となり、工夫を凝らした立体的な展示を取り入れ、入場者数も 1,600 人超えました。障害者とアートに関しては発展させていきたいと思っています。

次に職員の人事評価に関しては、前回市長からもお話がありましたが、これまでの管理職に加え一般職に関しても昨年度試行、今年度より本格実施しております。職員の資質向上になるよう指導しております。

大きな課題は何と言っても職員の確保です。全国的に不足する保育士や医療職については、民間の就職サイトもさらに活用して確保に努めます。

また職員の柔軟な採用方法に関しては市のご協力を得ながら、進めてまいります。

事業団本部に関しましては、来年度には社会福祉法人について大きく改正された社会福祉法の施行に対応するため、現在準備作業に注力しているところです。

今後も各事業内容の精査による経費節減はもとより、さらなる身近な情報発信にも力を入れてまいります。

通所による障害分野での自立というのは難しいところもありますが、市民ニーズに合った積極的な事業展開を図り、公と民の間を埋める社会福祉事業団本来の設立目的に即した立場を堅持し、職員が一丸となって将来を見据えた効率的な経営ができるようにしていく必要があると考えております。

今後も堺市と共に「子育てのまち堺」実現の一翼を担っていきたいと考えています。そして、何よりも障害を主に乳幼児期から高齢者に至るまで切れ目のない事業の展開を派手さはなくとも一つひとつ着実に実践することにより、今後とも事業団が堺市や多くの市民から信頼され愛されるよう取り組んでまいります。

以上雑駁ですが説明とさせていただきます。

平成 28 年 11 月 8 日

理事長 早川 泰史